



Sagami Women's University

後援会会報

March.2023 No.56



目次

後援会からのお知らせ …… 1～2	学修上(履修・成績)の留意点/保健センターより/学生相談室より/2023(令和5)年度出願可能な奨学金制度のご案内/2023(令和5)年度学年暦(大学)(短大)
2022年度役員会報告/後援会新役員募集のご案内/相生祭「後援会活動紹介コーナー」開催報告/2022年度事業報告/卒業生に化粧筆(熊野筆)をプレゼント	
2022年度「就職懇談会オンライン」動画配信について …… 3	後援会で助成している学生の活動紹介 …… 7～8
就職支援課より …… 4	地域活動(佐渡プロジェクト・もとみやSMILEプロジェクト)/大学祭実行委員会活動/クラブ活動(剣道部・バスケットボール部・茶道部)
就職トピックス/就職支援Q&A	2022(令和4)年度 課外活動奨励賞受賞者一覧 …… 9
お知らせ …… 5～6	2022(令和4)年度 科学研究費助成事業採択状況 …… 10

後援会からのお知らせ

2022年度役員会報告

役員会

日時:2022年7月16日(土)13:00～14:30

常任理事会 (対面形式で実施)

- 議事 ①就職懇談会オンラインの内容について
 ②相生祭の対応について
 ③春学期卒業記念品について
 ④2022年度卒業式記念品の見直しについて
 ⑤6月11日実施の教育懇談会「学科毎の懇談会・教育個別面談」について(報告)

日時:2022年7月29日(金)～8月8日(月)

理事会 (書面形式で実施)

- 議事 ①就職懇談会オンラインの開催について(提案)
 ②相生祭の対応について(提案)
 ③春学期卒業式記念品について(提案)
 ④2022年度卒業記念品の見直しについて(提案)

日時:2022年9月26日(月)～10月7日(金)

常任理事会 (書面形式で実施)

日時:2022年10月7日(金)～10月26日(水)

理事会 (書面形式で実施)

- 議事 ①後援会会則の一部改正について(提案)
 ②2022年度予算について(提案)
 ③卒業記念品について(提案)
 ④相生祭の対応について(提案)
 ⑤防災用品について(提案)
 ⑥就職懇談会オンラインについて(報告)

日時:2023年2月11日(土)9:45～10:13

常任理事会 (対面形式で実施)

日時:2023年2月11日(土)10:30～11:27

理事会 (対面形式で実施)

- 議事 ①後援会内規の一部改正(案)について
 ②後援会諸規程の区分(案)について
 ③2022年度 事業報告(案)について

- ④2022年度 予算執行状況及び今後の執行計画(案)について
 ⑤2023年度 後援会行事日程(案)について
 ⑥2023年度 定期総会の開催形式(案)について
 ⑦2023年度 教育懇談会の開催形式(案)について
 ⑧2023年度 就職懇談会オンラインの開催形式(案)について
 ⑨2023年度 事業計画(案)について
 ⑩2023年度 概算予算(案)について
 ⑪2023年度 新役員の募集状況及び役員改選(案)について
 ⑫その他

ご案内 後援会役員を募集しています

在学生のご父母・保証人が会員となっております相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会では、現在、2023年度の新役員を募集しております。
 役員会資料や発行物の作成などは、後援会事務局が行うため、事務負担はありません。
 また、就任された皆さまには、役員会(年間4回程度)にご出席いただき、後援会の事業計画や予算等について審議をお願いしております。

大学と連携を取りながら、学生のために支援できることを進めていくために、ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。
 ご興味のある方は、後援会事務局へお気軽にお問合せください。

後援会事務局連絡先 **TEL 042-747-9067**
 (受付:月・水・金 10:00～18:00)
 E-mail:kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp

相生祭「後援会活動紹介コーナー」開催報告

日時:2022年11月3日(祝)10:30～15:00 場所:7号館 1階ラウンジ

後援会の活動内容をより多くの皆様にご覧いただくため、後援会の活動に関する展示を行い、170名の方にご来場いただきました。後援会寄贈の備品の展示では、保証人・学生の皆様から「サーキュレーターがあると安心する」「グループ学習室の使い心地が良い」等のお声をいただきました。また、ご来場の方には大学の模擬店等で使用できる補助券(100円分)をプレゼントし、模擬店の販売促進に寄与しました。保証人・学生の皆様との良い交流の場となりました。



2022年度事業報告

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

① 教育研究活動の充実を図る

後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入し、さらに、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続しました。

② 学生の福利厚生の充実を図る

クラス会開催費として、経費の一部を補助しました。また、卒業式当日に卒業記念品である化粧筆と、卒業記念パーティーの代わりとして紅茶の詰め合わせを贈りました。

③ 学生の課外活動の充実と活性化を図る

クラブに対し、活動に必要な用品の購入を助成しました。

④ 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する

課外活動の分野で顕著な活躍をした個人と団体を大学が顕彰することに伴い、卒業式で副賞を授与しました(2022年度課外活動奨励賞の受賞者並びに表彰内容・理由はP.9に掲載)。

⑤ 学生の就職活動を支援する

就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成しました。

- ・Zoomを活用した就職セミナー
- ・SPI模擬試験・試験解説講座
- ・保護者版就職ガイドブック など

刊行物(PDFでの電子発行)について

会報55号を2022年10月に発行、会報56号を2023年3月に発行(今号)し、後援会ホームページに掲載しました。

災害対策助成費について

地震等の災害に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災セット」を1000セットを購入しました。

弔慰費について

会員のご不幸は、大学22名でした。会則により弔意を表しました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

その他

学習支援助成費より、附属図書館グループ学習室に電子黒板2台を設置しました。また、予備費(新型コロナ対策支援経費)よりスタディールームに床置き型空気清浄機1台を設置しました。

後援会から

卒業記念品として化粧筆(熊野筆)をプレゼント

今年度より、2022年8月に実施した全学年対象のアンケート結果で最も人気だった化粧筆(熊野筆)を卒業生に贈呈しています。新しい環境でのご活躍を祈念いたします。

アンケート回答抜粋

- 女子らしくて、熊野筆であるなら将来的にも長持ちすると思いました。
- 社会人として働くなら化粧は必須なので、化粧筆がいない学生はいないと思う。
- 毎日使うものなので、何本あっても良いと思う。



2022年度 「就職懇談会オンライン」動画配信について

毎年ご好評をいただいている「就職懇談会オンライン」の動画を今年度も公開しました。今年度より1年を通じて視聴できるようになりましたので、まだご覧いただいていない保証人の皆様、また学生の皆様もこの機会にぜひご覧ください。



「内定獲得者へのインタビュー」動画撮影の様子



開催概要

動画配信期間

2022年10月28日(金)～2023年10月27日(金)予定

配信内容

① 学長メッセージ

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

② 講演「コロナ禍における就職活動」(約50分)

講師：株式会社マイナビ 横浜キャリアサポート2課
中山 眞梨奈 氏

③ 内定獲得者へのインタビュー(合計11名:1名につき約20分)

日本語日本文学科 4年 ……佐藤 美里
英語文化コミュニケーション学科 4年 ……熊澤 理奈
子ども教育学科 4年 ……井川 友里
メディア情報学科 4年 ……友廣 優梨香
生活デザイン学科 4年 ……西ヶ谷 祐香
社会マネジメント学科 4年 ……杉崎 奏美
人間心理学科 4年 ……高井 咲楽
健康栄養学科 4年 ……笠原 朱莉
管理栄養学科 4年 ……小泉 凜
食物栄養学科 2年 ……吉元 天音
(公務員合格者)人間心理学科 4年 ……小林 美羽

④ 編入学決定者へのインタビュー(約10分)

食物栄養学科 2年 ……庄子 友萌

⑤ 報告「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」(約35分)

報告者：夢をかなえるセンター 就職支援課長 武石 聡子

インタビュー内容(抜粋)

- 入社(内定承諾)の決め手は何ですか。
- 就職活動の軸は何でしたか。
- 自己分析はどのように行いましたか。
- 選考のスケジュールを教えてください。
- 他の人と差別化するためにこだわったこと、心掛けたことはありますか。
- ウェブ面接はありましたか。
- 今、やっておくべきことはありますか。
- 就職活動をするうえでのアドバイスをお願いします。

動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「就職懇談会オンラインへ」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。

URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先

後援会事務局

042-747-9067

Mail:kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp

開室時間:10:00～18:00(月・水・金)

保証人の方からのコメント

- コロナ前の就職活動とかなり変わって来ているとは感じていましたが、今の就職状況などや、今後どの様に行動し準備して行けば良いのか、参考になりました。
- オンラインで時間を気にせず家で視聴できるのでよかったです。また学生の話や就職支援についての話を聞くことができて安心しました。

就職支援課より

問い合わせ先

就職支援課 042-742-1734

… 就職トピックス …

就職準備講座(秋学期)

〈対象〉大学3年生、短期大学部1年生

9月22日～10月20日までの毎週木曜日に「就職準備講座」を実施しました。春学期に引き続き全てZoomでの実施となりましたが、春学期同様出席率が高く、学生たちの意識の高さを感じることができました。具体的な実施内容としては、秋学期以降の就職活動の進め方、自己分析【完結編】、面接対策、企業説明会の聞くべきポイント、内定者の就活体験談などを行いました。特に内定者の就活体験を聞く回では、様々な質問が出され学生の就活に対する意欲がさらに高まった様子が見られました。

オンライン仕事研究&インターンシップ説明会

〈対象〉大学3年生、短期大学部1年生

11月～2月末にかけて合計12回、本学の学生を採用したいと考えている企業の採用担当者から、業界の特徴や企業の魅力についてお話しいただく「オンライン仕事研究&インターンシップ説明会」を実施しました。

昨年度に引き続き全てZoomで実施し、学生たちは自宅や学内からオンラインでの参加となりました。初めて企業の方とお話をする機会となった学生も多く、緊張した面持ちの様子でしたが、積極的に質問するなど充実した時間を過ごすことができたようです。

各企業より、インターンシップの紹介をいただいているので、多くの学生たちがインターンシップに参加していることでしょう。

ハローワーク相模原との連携

〈対象〉大学4年生、短期大学部2年生

昨年度から継続してハローワーク相模原と連携し、予約制で個別就職相談会を開催しました。相模原市に限らず、地元で働きたいと考えている学生を中心に、就職相談をすることができました。大手就職情報サイトや大学に求人を出していない地元企業を中心に求人を紹介してもらったり、今後の就職活動の進め方のアドバイスをもらったりと非常に充実した相談会になったようです。

ハローワークの紹介から内定につながった学生が多く、これからも学生たちに利用をしてもらいたいと考えています。

就職支援 Q&A

2024年3月卒業生の採用試験では、引き続きWebを利用した採用活動が行われる予定であるといわれています。最終面接は対面で行われるかもしれませんが、それまでの会社説明会や一次面接、二次面接はWebで行われる可能性が大いにあります。今回、Webを活用した就職活動のうち多く寄せられるご質問について、Q&A形式でご紹介いたします。

Q. オンラインインターンシップには参加した方がよいでしょうか。

A. 興味のある企業であれば、ぜひ参加をしましょう。働いている会社や社員の方と直接会うことはできませんが、Webでの説明や体験する内容は今後の就職活動に非常に役に立ちます。企業によっては1日で終わるものから数日間に及ぶものがあります。授業やアルバイトの日程を調整しながら、ぜひ参加をしてください。

Q. Web面接について教えてください。

A. 「オンライン面接」とも呼ばれており、PCやスマートフォンのビデオ通話機能を用いて行う面接のことです。面接会場に行くことなく、自宅面接を受けることができます。企業が指定するWebシステムの利用方法を事前に確認し、そのシステムの利用方法、通信環境を事前にチェックする必要があります。また、自宅であっても就活スーツ着用は必須です(企業から私服の指定がある場合を除く)。就活メイクと就活スーツで臨み、できるだけ背景が白く無地になるような場所および顔が十分に明るく映る場所を選ぶことが大切です。

Q. 動画選考について教えてください。

A. 「動画面接」「自己PR動画」とも呼ばれていますが、自己PRや質疑応答などを自分で撮影し、撮影した動画を提出して受ける選考のことです。先述の「Web面接」と似ているので混同してしまうかもしれませんが、「Web面接」は面接官とリアルタイムに行う面接ですが、「動画選考」は用意された質問に応募者が回答する様子を録画して提出するところが異なる点です。

お知らせ

学修上(履修・成績)の留意点

履修登録の際には、所属する学部学科および資格課程において定められている履修方法、各授業科目のシラバスを参照しながら履修計画をたてます。各セメスターで履修登録できる単位数は24単位で、年2回履修登録期間があります。履修登録はWeb上で行います。履修登録をしていないと授業に出席していても評価対象となりません。学生には履修登録確認日に、必ず学生ポータルサイト「Smile Sagami」で、登録状況を確認するよう指導しています。また、進級(栄養科学部のみ3年次への進級要件あり)、卒業の

ためには各学科で定めている授業科目や単位数を修得しなければなりません。同一学科でも入学年度(カリキュラム年度)によって進級や卒業要件が異なります。詳細は「Student Handbook」で確認できます。

なお、成績は「Smile Sagami」で発表します。保証人宛には「成績通知書」をお送りしています。

問い合わせ先 **学修・生活支援課**
042-813-5069

保健センターより

学生のみなさんに健康でいきいきとした学生生活を過ごしていただくため、健康に関する相談に応じています。体調を崩したとき、不安を感じたり精神的に疲れたときなど、気軽に保健センターを利用するようお勧めください。なお、保護者の方からのご相談にも応じていますのでご利用ください。

定期健康診断

全学年を対象に定期健康診断を実施しています。学生健康診断の実施は学校保健安全法で定められており、病気の予防措置などを目的としています。健康診断の結果によっては呼び出しを行います。「Smile Sagami」の個人宛てお知らせを必ず確認するようお声がけください。学生本人に連絡が取れない場合は保護者に連絡する場合があります。

健康支援

- 病気やけがの応急手当 ※医療機関の受診が必要な場合があります。保険証は本人が所持するようご指導ください。
- 感染症対策、生理痛、アルコール、禁煙、薬物依存などに関連した保健活動
- 学校医(内科 1回/月)、精神科医(1回/週 ※授業期間のみ 要予約)による健康相談(医師不在時はスタッフがお話を伺います) ※相談日など詳細については「Smile Sagami」でお知らせしています。
- 病気や障がいによる学校生活上の支援

学校感染症予防について

新型コロナウイルス感染症への対応については、長期的に感染対策を行っていくことが必要です。手洗い・手指消毒、マスク着用や咳エチケットなどの基本的な感染予防対策の徹底を、ご家庭でもご指導ください。感染時・濃厚接触者該当時は出席停止です。感染を疑う症状がある場合は登校を控えていただいております。

上記に該当する場合は保健センターへの連絡をお願いいたします。詳しくは保健センターへお問い合わせください。

また、大学での集団感染防止のため、以下の感染症については母子手帳で予防接種歴の確認をお願いします。抗体価が十分でない場合は予防接種を受けるようお願いします。

- 麻疹 ● 風疹 ● 水痘(みずぼうそう)

- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

※MRワクチンは麻疹と風疹の混合ワクチンです。

※一部の学科では、抗体価が不十分な場合は実習に参加できません。

学生教育研究災害傷害保険

全学生を対象に、Bタイプ(1200万)通学特約に加入しています。正課中の講義、実験、実習、学校管理下で実施される行事中に生じたけがが対象となります。けがをした際の事故受付は以下のLINEから登録となります。個人で任意加入する学生総合保険などについては大学への申請は不要です。ご自身で保険会社に問い合わせをお願いします。詳細については、入学時配付の『学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり』『学研災公式LINEアカウント登録案内用チラシ』をご覧ください。

問い合わせ先 **保健センター**
042-747-9072 (直通)

開室時間: 平日9:00~18:00/9:00~17:00(授業・テスト期間外)
土曜日9:00~12:30 場所: 夢をかなえるセンター3階

新型コロナウイルス感染報告フォーム

URL: <https://req.qubo.jp/sagami-wu/form/coronareport>

学生相談室より

学生相談室では、学生がこころ豊かに充実して学生生活を送ることが出来るよう、臨床心理士の資格をもったカウンセラーがしっかりとお話を伺い、サポートしていきます。

対面相談、電話相談、遠隔(オンライン)相談が可能です。

※遠隔(オンライン)相談は学生が対象です。

- 学業について ● 進路について ● 心の健康について

- 対人関係について ● 生活上の問題について

- サークルについて ● その他のようなことでも構いません

特に相談がなくても、談話室でゆっくりと静かな時間を過ごすことができます。気軽に学生相談室を利用するようお勧めください。ご家族からの学生についてのご相談もお受けします。相談内容について秘密は守られます。

問い合わせ先 **学生相談室** **042-746-6672** (直通)

開室時間: 月~金 10:00~17:00 場所: 1号館2階

遠隔相談申し込みフォーム

URL: <https://req.qubo.jp/sagami-wu/form/ftHzMKs0>

2023年度 出願可能な奨学金制度のご案内

- 1 日本学生支援機構給付奨学金および学費減免(修学支援新制度)
- 2 日本学生支援機構貸与奨学金
- 3 日本学生支援機構奨学金(家計急変向け)
- 4 相模女子大学奨学金
- 5 相模女子大学緊急給付奨学金
- 6 相模女子大学同窓会(翠葉会)卒業時緊急奨学金

※詳細は、本学ホームページ(ホームページ > キャンパスライフ > 奨学金)をご覧ください。併せて、日本学生支援機構奨学金については、日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

問い合わせ先 **1~5**学修・生活支援課: 042-813-5069 **6**同窓会(翠葉会)事務局: 042-742-1737

2023(令和5)年度 学年暦【大学】

2023(令和5)年	9月19日(火) 秋学期Web履修科目登録確認日
3月24日(金)~27日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月20日(水) 履修登録期間(二次募集)
4月1日(土)・3日(月)・4日(火) 新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)	9月21日(木) 秋学期他学部・他学科科目登録
4月5日(水) クラス会(新入生)	9月25日(月) 秋学期授業開始
4月6日(木) 健康診断(新入生)	10月2日(月) 秋学期履修科目追加・訂正
4月7日(金) 入学式	10月9日(月) 祝日(スポーツの日) 祝日授業
4月8日(木) 健康診断(在学生)	10月18日(水) 創立記念日
4月6日(木) 春学期Web履修科目確認日	11月2日(木)~5日(日) 相生祭(2日準備、5日片付け) 授業なし
4月10日(月) 履修登録期間(二次募集)	11月23日(木) 祝日(勤労感謝の日) 祝日授業
4月11日(火) 春学期他学部・他学科科目登録	12月22日(金) 秋学期前半授業終了
4月12日(水) 春学期授業開始	12月24日(日)~1月9日(火) 冬季休業
4月19日(水) 春学期履修科目追加・訂正	2024(令和6)年
5月3日(水) 祝日(憲法記念日) 祝日授業	1月10日(水) 秋学期後半授業開始
5月31日(水) 授業なし	1月22日(月)~26日(金) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
7月17日(月) 祝日(海の日) 祝日授業	1月26日(金) 秋学期授業終了
7月24日(月)~28日(金) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	1月29日(月)~31日(水) 秋学期末定期試験期間
7月28日(金) 春学期授業終了	2月13日(火) 卒業年次生成績発表
7月29日(土)・31日(月)・8月1日(火) 春学期末定期試験期間	3月8日(金) 卒業式
8月2日(水)~9月24日(日) 夏季休業	3月12日(火) 秋学期成績発表
9月6日(水) 春学期成績発表、 在学生オリエンテーション	3月12日(火)・13日(水) 在学生オリエンテーション
9月11日(月)・12日(火)・13日(水) 秋学期Web履修科目登録期間	3月22日(金)~26日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月15日(金) 春学期末卒業式	

2023(令和5)年度 学年暦【短大】

2023(令和5)年	9月19日(火) 秋学期Web履修科目登録確認日
3月24日(金)~27日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月20日(水) 履修登録期間(二次募集)
4月1日(土)・3日(月)・4日(火) 新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)	9月21日(木) 秋学期他学部・他学科科目登録
4月5日(水) クラス会(新入生)	9月25日(月) 秋学期授業開始
4月6日(木) 健康診断(新入生)	10月2日(月) 秋学期履修科目追加・訂正
4月7日(金) 入学式	10月9日(月) 祝日(スポーツの日) 祝日授業
4月3日(月)~6日(木) 健康診断(在学生)	10月18日(水) 創立記念日
4月6日(木) 春学期Web履修科目確認日	11月2日(木)~5日(日) 相生祭(2日準備、5日片付け) 授業なし
4月10日(月) 履修登録期間(二次募集)	11月23日(木) 祝日(勤労感謝の日) 祝日授業
4月11日(火) 春学期他学部・他学科科目登録	12月22日(金) 秋学期前半授業終了
4月12日(水) 春学期授業開始	12月24日(日)~1月9日(火) 冬季休業
4月19日(水) 春学期履修科目追加・訂正	2024(令和6)年
5月3日(水) 祝日(憲法記念日) 祝日授業	1月10日(水) 秋学期後半授業開始
5月31日(水) 授業なし	1月22日(月)~26日(金) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
7月17日(月) 祝日(海の日) 祝日授業	1月26日(金) 秋学期授業終了
7月24日(月)~28日(金) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	1月29日(月)~31日(水)・2月1日(木) 秋学期末定期試験期間
7月28日(金) 春学期授業終了	2月13日(火) 卒業年次生成績発表
7月29日(土)・31日(月)・8月1日(火)・8月2日(水) 春学期末定期試験期間	3月8日(金) 卒業式
8月3日(水)~9月24日(日) 夏季休業	3月12日(火) 秋学期成績発表
9月6日(水) 春学期成績発表、 在学生オリエンテーション	3月12日(火)・13日(水) 在学生オリエンテーション
9月11日(月)・12日(火)・13日(水) 秋学期Web履修科目登録期間	3月22日(金)~26日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月15日(金) 春学期末卒業式	

後援会で助成している学生の活動紹介

地域活動

佐渡プロジェクト

新潟県佐渡市の魅力をより多くの人に知ってもらうため、学生の視点で地域の文化や歴史を見つめ、住民の方々と交流を深めながら活動を行っています。

活動は「知る・学ぶ」「発信する」「考える」の三つの要素から成り立っています。

まず、「知る・学ぶ」では実際に佐渡島を訪問したり、首都圏の観光PRイベントのボランティアに参加しています。佐渡市民によって大切に伝承されてきた伝統芸能である能、文弥人形、鬼太鼓などを体験する機会を設けたり、地域の方々のお話を伺う勉強会を開催しました。

「発信する」では、佐渡島の魅力や佐渡プロジェクトの活動内容についてInstagramや、TwitterなどのSNSを活用して広報活動をしています。

最後の大切な要素である「考える」活動では、定期的にミーティングを開催しています。各メンバーが佐渡を知るきっかけ作りの方法や、自分たちが知りたいこと・やりたいこと、SNSのよりよい活用方法など多岐にわたって話し合い、活動に反映させています。



佐渡プロジェクト 和田 彩花

もとみやSMILEプロジェクト

相模女子大学の学生と福島県本宮市との交流は約10年前に始まり、その後『もとみやSMILEプロジェクト』が2017年に発足されました。4人の先輩方が、3.11の東日本大震災の風評被害で苦しむ本宮市にできることは何かと考えたことがきっかけでした。

先輩方の思いを引き継ぎ、福島県本宮市をもっと元気に、もっと笑顔に、そして本宮市の魅力を発信したい、そんな思いを胸に私たちは活動しています。

今年度は新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながら、約2年半ぶりに本宮市を訪問しました。その訪問では田植え体験や稲刈り、野菜の収穫作業を本宮市の方々が行うことができました。また、4年ぶりに開催された本宮市の秋祭り「本宮真結女神輿」にも参加させていただきました。コロナ禍でも本宮市の方々の元気な姿を拝見し、私たちプロジェクトメンバーも元気をいただきました。



コロナが終息しつつある今、本宮市の方々とさらに繋がる機会を持つことができよう、新しいことに挑戦していきたいと考えています。これからも本宮市の魅力をたくさんの方々に知ってもらえるよう下級生にも伝えて参ります。

もとみやSMILEプロジェクト リーダー 黒澤 萌恵

大学祭実行委員会活動

大学祭実行委員会は相生祭の中でも大学部の運営を担当しています。クラブの模擬店や展示、発表等のサポートを行う他、大学祭実行委員会の企画としてビンゴ大会や子ども向けの模擬店、芸能人トークショー、お笑いライブを運営しています。1、2年生合わせて200名が在籍する大きな委員会です。学園祭の運営と聞くと華やかなイメージですが、実は地道な作業の繰り返しです。相生祭準備期間はテントの設置やゴミ箱の配置、ステージ組み等の重労働が続きます。夜や早朝の人がいない学内での作業は学園祭直前とは思えない静けさでした。当日も増え続けるゴミの回収やパンフレットの配布、トラブル対応に追われます。このように、苦勞が絶えない活動ですが、その分大きな達成感があります。無事に開催できたときは相模女子大学の大切な学園祭を守ることができたことと誇らしくなるばかりです。

来年は54回目を迎える相生祭。ここまで長く受け継ぐことができたのは日頃よりご支援をいただいている後援会の皆様のおかげです。学生を代表して感謝申し上げます。

大学祭実行委員会 委員長 向井 あづ希



クラブ活動

剣道部

日頃より剣道部へのご支援を賜りありがとうございます。

私たち剣道部は、先生も含めた6人で週2回活動しています。所属や学年はバラバラですが、楽しみながら稽古しています。また、新入部員の勧誘に向けて準備もしているところです。

2022年の5月まで新型コロナウイルスの影響で活動を停止していましたが、6月から感染対策を徹底しながら活動を再開しました。

剣道では「礼に始まり礼に終わる」と言われるように相手を尊重し、相手がいってくれることへの感謝を意識して稽古しています。普段の活動は、技を練習する基本稽古や試合練習のような地稽古などを行っています。本学の建学の精神でもある「高潔善美」を実践すべく精進しています。

今後は、他校との合同練習や連盟加入、大会への出場なども視野に入れながら活動していきます。



野に入れながら活動していきます。

充実した大学生活を送るとともに、部活動で得た経験を社会に還元できる人間になれるよう今後とも努力していきたいと思えます。

剣道部部长 天野 栞里

バスケットボール部

私たちバスケットボール部30名は、週2回大学体育館で活動しています。現在は、新型コロナウイルスの影響で活動時間帯に影響が出ているものの、感染対策を徹底して練習に励んでいます。日々の練習内容としては、部員全員で練習メニューを考えながら、基礎練習をメインにパスから対人練習まで幅広く行っています。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で春夏の大会が中止になってしまいましたが、神奈川リーグは開催され、参加することができました。新チームとして、上手く練習が回らない中での参加ではありましたが、部員全員がコートに立ち、今後の課題を見つけることができたのではないかと思います。また、今年度の部員増加に対応するため、ユニフォームを追加購入し準備しました。なかなか、運動をする機会のない大学生には、少しでも体を動かせる



も良い場だと思います。

最後になりますが、このような状況の中、活動を支えてくださる大学関係者の方々には大変感謝しています。今後ともバスケットボール部の活動を見守ってくださると幸いです。

バスケットボール部 部長 笹生 彩乃

茶道部

私たち茶道部は5号館に隣接されている「明月庵」というお茶室で活動を行っています。月に2回お稽古として裏千家の先生をお招きしてご指導いただいています。お稽古では、お茶の作法のみではなく「感謝の心」と「思いやりの心」を先生から学んでいます。学生のみ自主練習では、部員の都合に合わせて活動をしています。今年度は新型コロナウイルスの影響により活動日数が昨年度より緩和されたので、コロナ対策をしながらコロナ前のようなお稽古やお茶会が出来るようになりました。9月に行った相模女子大学小学部の「つなぐ手」の日本伝統文化体験の茶道でのお手伝いでは小学部の児童さんにお茶の動作を一つ一つ教えました。児童さんたちが楽しそうに体験をしていたので開催が出来て良かったです。

の開催でしたので緊張をした部分もありましたが最後までお客様に喜んでいただけたので嬉しく思いました。

茶道部を見守ってくださる大学の関係者や顧問の先生、ご指導いただいている先生には日々大変感謝しています。今後とも宜しく願い致します。



茶道部 部長 大須賀 董

2022 (令和4) 年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生(個人および団体)を、大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

個人		
個人名	所属学科	表彰内容・理由
村上 貴美子	日本語日本文学科 3年	2022年度より書道部部长として、コロナ禍で活動が難しい状況の中、合宿の立案計画や、書道部展を開催した。また自身も学内外の展覧会に積極的に取り組み、本年度は右記の通り優秀な成績を取めた。第73回毎日書道展入選、第70回三島市美術展議長賞、第15回全国公募書道展「放哉を書く」、第59回全国読書大会秀作、第11回佐久全国臨書展特選
稲葉 女久美	英語文化 コミュニケーション 学科4年	公益社団法人実務技能検定協会が主催する「サービス接遇検定1級」に合格した。1級合格率は35%と難易度が高く、本学内で1級合格者は2人目となる。当該学生は就職先がホテル業界であり、これからの職業に向けて自ら自己研鑽し、他の学生の手本となる学生であると言える。
加藤 尚美	英語文化 コミュニケーション 学科4年	1年次より4年間、日本語の学習サポートが必要な生徒のための「CEMLA学習支援教室」の学生ボランティアとして60回以上参加し、活躍した。コロナ禍でのオンライン開催及び対面開催の双方に柔軟に対応し、多方面から大きな信頼を得た。その姿勢は、後のボランティア学生の大きな指針になると言える。
山中 みさと	英語文化 コミュニケーション 学科3年	海外のニュースやドラマ等の多聴や自主学習、授業への意欲的な取り組みにより英語力を伸ばし、TOEIC 970点を取得した。キャンプ座間の4週間インターンシップでは、専門性の高い防衛協力課に配属され、研修成果報告会ではフリーフィング通訳を見事にこなす等、傑出した成果を挙げた。またボランティア活動では、中学校の夜間学級で学ぶ外国ルーツの方々の日本語学習をサポートし、社会貢献を行った。

団体	
団体名(所属学科)	表彰内容・理由
クラブ活性化プロジェクト (日本語日本文学科・子ども教育学科・生活デザイン学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科)	2021年9月にコロナ禍で衰退したクラブ活動を活性化するため発足し、普段の活動や大会の写真等を使用する「ピックアップ!クラブ紹介!」の企画、学生に配布する「クラブ活動Q&A」の作成、昼休みのクラブ紹介、クラブ体験会、クリスマスコンサート等を行った。また、クラブ部長会の定期的な開催も継続中であり、これらの取組みは大学全体を盛り上げる活動と評価できる。
相生祭実行委員会・大学祭実行委員会 (日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科・食物栄養学科)	三年振りに、歴史ある「相生祭」を再スタートさせた。両委員会は対面開催を経験していない中、相生祭実行委員会は臨機応変に全体を統括・進行し、大学祭実行委員は参加団体への説明会開催や、質問・要望の聴き取り及び調整を行った。さらに感染症対策や大学祭主体の企画も積極的に発案し、その団結力と個々の努力により、2日間で1万9000人以上の来場者を集めた。
オープンキャンパス学生スタッフ 学生企画チーム (日本語日本文学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科・人間心理学科・健康栄養学科)	オープンキャンパスで「学生が受験生に本学の魅力を伝える」、「本学で学び、成長した姿を見せたい」という思いから、学生が受験生向けに企画・立案し、下記イベントを実施し、相模女子大学の魅力発信に大きく貢献した。「目指せ!さがしよマスター(クイズラリー)」、「さがつぱ・ジョーのお散歩マップ(展示)」、「相模女子大学周辺魅力マップ(展示)」、「学生を知ろう(展示)」、「大学生のリアルを知ろう!トークショー」
地域活性化・発想女子チーム (英語文化コミュニケーション学科)	北陸・東北地方を中心に19日間に渡り地域貢献活動を行い、以下の成果を発揮した。 1.「全国エコツーリズム学生シンポジウム」に応募し、「もう「震災復興」とは言わない。エコツーリズムで福島を元気にする一浜通りで“癒やし”旅をー」がポスターセッション枠に選出された。 2.富山県庁、NPOグリーンツーリズム富山とチーム学生の協働で、富山県南砺市土山地区、同上市町黒川地区での地域活性化活動として、観光を用いた耕作放棄地の活用、特産品の販売方法の検討等を行った。(10/24富山新聞・11/6北日本新聞掲載) 3.富山県氷見市論田熊無地区、南砺市土山地区の相生祭参加の準備、当日の店舗運営の補助を行った。 4.「2022年度第18回神奈川産学チャレンジプログラム」で優秀賞を受賞した。
学生プロジェクト団体 「歴史マッププロジェクト」 (メディア情報学科・生活デザイン学科・人間心理学科・健康栄養学科)	本学に在る歴史的遺構を纏めた「サガジョ歴史マップ」とそのデジタル版の二次元コードを掲載した「サガジョ歴史マップカード」を制作し、帝国女子専門学校時代をイメージした女学生に扮した学生が構内の遺構を案内する「サガジョ歴史ツアー」を相生祭にて実施した。当取組みを契機に、今後、歴史という観点で地域との繋がりを発信するヒントを得たと見える。
さがみチキンプロジェクト パッケージデザイン・ラベルデザインチーム (メディア情報学科)	本学のある相模原市南区において、採卵期間を終えた親鶏が年間8~9万羽廃鶏されているという現状解決のため、相模原市商業連合会の飲食店である「旬鮮酒場NOBU」が「相模チキンの鶏すじ煮込み」及び「相模チキンジャーキー」を商品開発し、当チームがパッケージ及びラベルのデザインを作成した。この活動は、相模原号外NET、JKOMテレビ[LIV E相模原、愛川]で紹介された。
デザイン防火衣企画「Lict(ライク)」 (生活デザイン学科)	相模原市消防局と相模原市防災協会と共同で、様々なコンセプトの消防フェア用の防火衣を8着製作した。完成した防火衣は、相生祭にてファッションショーと試着体験で発表し、2冊の冊子制作も行った。その後も、作品展示(相模原市役所、2023年度出初め式等)や試着体験(各種防災フェア)にて活用されており、朝日新聞や産経新聞等各種メディアに取り上げられた。また、2023年1月相模原市消防局にて表彰された。

2022 (令和4) 年度 科学研究費助成事業採択状況

所属学科	教員名	職位	研究種目・研究課題名
日本語日本文学科	加納 留美子	講師	研究成果公開促進費(学術図書) 研究代表者 蘇軾詩論——反復される経験と詩語
	下田 章平	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 関西中国書画碑帖コレクション形成の研究—未刊資料の分析を中心として—
	宮原 志津子	教授	基盤研究(C) 研究代表者 公共図書館員のコンピテンシー獲得を目的とした図書館実習ガイドラインとモデルの提案
	高木 信	教授	基盤研究(C) 研究分担者 玉里文庫本「古筆源氏物語」の本文と伝来の研究
英語文化 コミュニケーション学科	渡辺 幸倫	教授	基盤研究(B) 研究代表者 越境する日本人国際結婚家庭の教育意識—アジア五か国でのライフストーリーから
			基盤研究(C) 研究分担者 旧日本委任統治領「ミクロネシア地域」の歴史教育に関する研究
			基盤研究(C) 研究分担者 インバウンド旅行者のための日本語学習教材の開発:話者同士の平等性希求の観点から
	九里 徳泰	教授	基盤研究(C) 研究代表者 日本における女性社会進出と企業活動—女性社会進出指標と企業パフォーマンスを中心に
子ども教育学科	小泉 京美	教授	基盤研究(C) 研究代表者 アジアにおける邦人現地採用のキャリアパスと日系海外現地法人の人材雇用戦略の研究
	宮本 節子	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 インバウンド旅行者のための日本語学習教材の開発:話者同士の平等性希求の観点から
	宇田川 久美子	教授	基盤研究(C) 研究代表者 保育における遊びの“おもしろさ”に関する研究
	七海 陽	准教授	基盤研究(B) 研究分担者 デジタル・シティズンシップ育成に資する保護者による幼児への介入—発達段階への着目
メディア情報学科	Toth Gabor	教授	基盤研究(C) 研究分担者 注意欠如多動症のある児童生徒における腸内細菌叢と運動能力
	荻本 快	准教授	若手研究 研究代表者 メンタライジングを測定する内省機能尺度(RFQ)の日本語版の開発
	今井 さやか	教授	研究成果公開促進費(データベース) 研究代表者 津波デジタルライブラリ
	池下 花恵	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 創作アプリが言語活動にもたらす要因と読み書き支援への応用
	加藤 由樹	教授	基盤研究(C) 研究代表者 mラーニングの感情面支援のためのコミュニケーション過程の感情伝達に関する基礎研究
			挑戦的研究(萌芽) 研究分担者 グローバル市民性養成を目指すAI型オンライン評価システムの開発
金 相賢	講師	基盤研究(C) 研究代表者 VR空間における視差量操作が認知過程に及ぼす影響	
塚田 修一	講師	基盤研究(C) 研究分担者 「限界芸術」化するアイドルの資料アーカイブ整備及び総合的なメディア文化史的研究	
生活デザイン学科	門屋 博	教授	基盤研究(C) 研究分担者 複合情報を持つ汎用的都市空間シミュレーションシステムの開発と評価
			基盤研究(C) 研究分担者 アンビルト作品の可視化に向けた創造的アート・アーカイブの試み
	角田 千枝	准教授	基盤研究(C) 研究分担者 乳がん患者の衣服選択を支援するスマートミラー開発のための基礎研究
社会 マネジメント学科	木本 玲一	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 太平洋戦争期の日本のボクシングに関する研究:統制と競技の実践
	中西 泰子	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 家族意識の長期的変容における地域性の関連メカニズムの解明
	松崎 吉之助	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 持続可能な民生委員活動支援のための基礎的研究—生活と活動の両立課題の分析—
			基盤研究(B) 研究分担者 医療機関を起点とした生活課題をもつ人への地域連動型支援プログラムの開発研究
湧口 清隆	教授	基盤研究(C) 研究代表者 観光列車と沿線地域の持続可能性—協働メカニズムの「見える化」に関する実証研究—	
人間心理学科	伊東 俊彦	教授	基盤研究(C) 研究代表者 当事者性とその表現—精神障害当事者のアート活動についての哲学的研究
			基盤研究(C) 研究代表者 数量認知の進化的起源
	後藤 和宏	教授	基盤研究(B) 研究分担者 メタ認知の適応的意義を探索:構成論的手法による仮説探索と実験による検証
			基盤研究(C) 研究代表者 自閉スペクトラム症児者同士の仲間集団が社会性の発達とQOLに及ぼす影響
	日戸 由刈	教授	基盤研究(C) 研究分担者 自閉スペクトラム症児者の認知特性と言語コミュニケーションにおける選好性
			基盤研究(B) 研究分担者 インクルーシブなプレイス・アタッチメント指標を用いた建築計画学研究
芝田 征司	教授	基盤研究(C) 研究分担者 自然体験活動による健康促進:自然との心理的つながりを媒介変数として	
山本 絵里子	講師	若手研究 研究代表者 舞踊の発達の起源の検討	
健康栄養学科	榎本 ヒカル	教授	基盤研究(C) 研究代表者 「住まい方知」の構成要素把握と住居学学習のこれからのあり方に関する研究
			基盤研究(C) 研究分担者 和の住まい方教育に関する基礎的研究~和の生活文化の継承と創造を目指して~
	嶋田 昌子	教授	基盤研究(C) 研究代表者 骨密度関連SNPs近隣由来のmiRNAsによる骨代謝制御の検討
	奥村 裕司	教授	基盤研究(C) 研究分担者 骨密度関連SNPs近隣由来のmiRNAsによる骨代謝制御の検討
	鶴崎 美徳	准教授	基盤研究(C) 研究分担者 舌発生異常を伴う症候群における舌形態診断のための研究
	海和 美咲	助手	若手研究 研究代表者 疑似的他者の存在によるおいしさと脳活動の変化についての研究
管理栄養学科	黒岡 尚徳	教授	基盤研究(C) 研究分担者 消化管上皮の発生・分化原理の理解に基づく化生発症メカニズムの解明
	今井 敦子	講師	若手研究 研究代表者 母マウスの食餌誘導性肥満が仔マウスの「免疫老化」に及ぼす影響
	下島 優香子	准教授	研究活動スタート支援 研究代表者 リステリア菌を指標とした食品製造施設における衛生管理システム構築の基盤研究
食物栄養学科	笹田 周作	教授	基盤研究(C) 研究代表者 四肢の体性感覚制御によるスプリントパフォーマンス改善の試み



相模女子大学 後援会 相模女子大学短期大学部

後援会会報 第56号

発行日/2023年3月16日 発行所/相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会

編集責任者/後援会事務局

住所/〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話/042-747-9067